

経済入門 第1回

日本経済の問題

バブル崩壊後いまだデフレから脱却できずにいる

①実質賃金低下による国内需要の大幅低下

②企業には供給能力が十分ある

①より個人の消費が伸びないので銀行融資をしてまで新に設備投資する意欲なし

したがって儲けは、賃金上昇や設備投資に回さず内部留保

今や、空前の内部留保額！！
350兆円

デフレギャップ

現実の需要が本来の供給能力を下回っている

内閣府統計

GDPギャップ▲1.6%

GDP490兆円

GDPギャップすなわちデフレギャップ：
7.84兆円

求められる経済対策：デフレ対策

デフレギャップを解消すること
その解決策は2つしかない！

① お金を増やす

日銀が相当円の供給をしたが効果なし

やはり、次の需要を増やさなければならぬ

② 供給を削るか需要を増やす

供給を削る

例：企業のリストラチャリング

需要を増やす

政府の公共投資や民間の投資、個人消費などの支出を増やしてGDPを伸ばす

しかし、デフレ期だから、民間投資や、個人消費には期待できない

したがって、ここは政府の出番だ

公共投資にいくら必要かというと、
上記のデフレギャップ7.84兆円！

ところが、財務省・御用マスコミ、そして政治家は

財務省：『国の借金、世界一』だから『財政健全化』しないと大変だ——！
消費税増税へ布石

勉強不足の御用マスコミ：財務省追随
誤報：『国民一人当たりの借金824万円！』

その結果、政治家までもが大混乱

1998年以来の緊縮財政継続で、日本経済はボロボロ寸前

強力な財政出動、不可欠
約8兆円規模